

オンラインによる太平洋島嶼地域 SDGs短期受入プログラムの試み ～日本人チューター学生の学びを中心に～

東矢光代・名護麻美
琉球大学

日本英語教育学会・日本教育言語学会
第51回年次研究集会発表
(2021年2月28日)

大学の世界展開力強化事業

- 琉大世界展開力強化事業「COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成」(2018~2022年度)

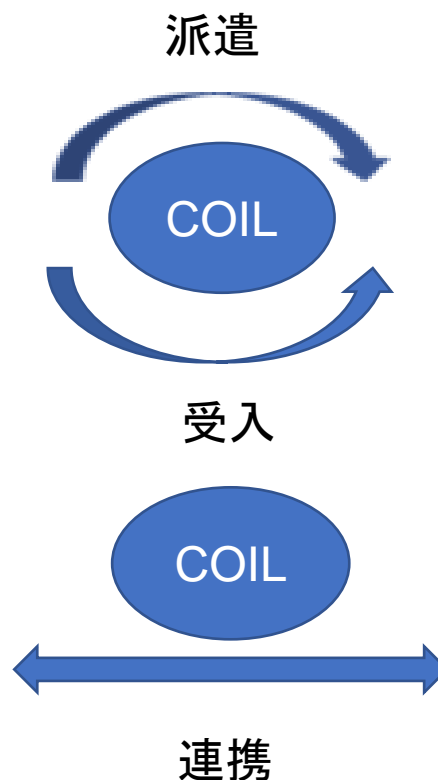
学生交流プログラム

太平洋島嶼地域探求プログラム[長期: 10ヶ月]
派遣・受入先の地域課題に適合した専門分野を現地で探求する。

太平洋島嶼地域課題プログラム[短期: 数週間]
歴史、文化、地域課題等の特定のテーマについての短期型研修プログラム

グローバル津梁プログラム 副専攻

- 必修科目[20科目](COIL型教育、外国語科目)
- 選択科目[8単位以上]
- 海外渡航



海外連携大学

ハワイ大学9校

マノア校

ヒロ校

マウイカレッジ

カウアイコミュニティカレッジ

ハワイコミュニティカレッジ

ホノルルコミュニティカレッジ

カピオラニコミュニティカレッジ

リーワードコミュニティカレッジ

ウィンドワードコミュニティカレッジ

グアム大学

パラオ地域短期大学

ミクロネシア連邦短期大学

マーシャル諸島短期大学

COIL (Collaborative Online International Learning)

COIL- オンラインを活用した国際的な双方向型の教育手法 (文科省)

- ・ Zoom等を活用した同期型COIL, コンテンツ共有の非同期型COIL、ハイブリッド型COIL



琉大COILの特徴

- ・ 太平洋島嶼地域の連携校との複数地点を結んだ協働学習および学生交流
- ・ SDGsに特化したグローバル人材教育
- ・ グローバル津梁プログラム (副専攻) と連動した教育の質保証



SGDs 短期受入プログラム

- タイトル—[Global Leadership for Island SDGs](#)
- 目的—太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成

【期間】

2020年2月16日-3月7日（事前研修 3W）、3月17日-3月20日（本研修4D）、3月27日（事後研修 1D）

- 募集と参加者

受入外国人学生5名→マーシャル諸島短期大学1名（全参加）、ミクロネシア連邦短期大学1名・ハワイ大学3名（事前研修）、日本人学生7名チューター

- 実施協力

講師 6名（本学教員5名、JICA1名）、フィールドビデオ協力者（子ども食堂運営者、サンゴ礁研究教員、学内博物館職員等）

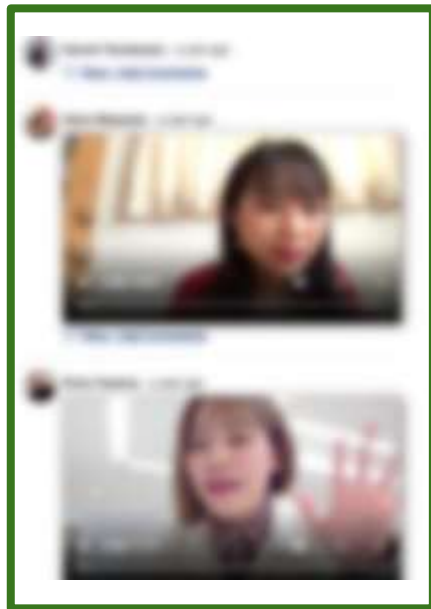
事前交流 (ImmerseU)



Institute for Innovative Global Education

ImmerseU : 関西大学IIGEとClass2Classが共同開発したCOIL学習プラットフォーム* (COILのための教員ネットワーキングや授業のアクティビティが行える)

* ImmerseU代表者のMatthew Hightower氏, Loye Ashton教授 による協力を得てプラットフォームを作成。



Lesson

Assign Activities

PreCOIL #1 (2/17-2/23) Self-Introduction Short Video

Resource: University of the Ryukyus (Ryudai) Intensive Study Program: "Global Leadership for Island SDGs"

Created: Jan 31, 2020 1:24 PM

Expected Learning Outcomes:

- Communication Skills
- ICT Tool Literacy

1) Please make a short-video clip with your brief self-introduction and your favorite things/ things to do in 1-minute video. 2) Exchange the video with your buddy on this File. 3) Make an online meeting schedule and have the first contact (online session) with your buddy via ZOOM (<https://zoom.us/j/199826288>). 4) Get to know each other and make the next online schedule between 2/24-3/1.

Activities

- Basic Activity
- Assessment
- Video Response

Get to know your Partner by understanding how they would react to a situation

Type of Activity: Situation Reaction

Created: Jan 31, 2020 1:42 PM

Self Introduction Video

Type of Activity: Video Sharing

Created: Jan 31, 2020 1:31 PM

1. Someone cuts the line in front of you
2. Someone is eating while they are walking down the street
3. Knocking on the door while someone is using the bathroom
4. Wearing your shoes in someones home

“Get to know your Partner by understanding how they would react to a situation.”

例“Someone cuts the line in front of you”



[Redacted] I'll say "We're all in line, so could you get in a line?"
[View / Add Comments](#)

[Redacted] I feel bad.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] I don't mention it directly. However express a feeling by behavior.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] Politely get their attention and say that I was waiting in line.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] I would kindly tell them I was in line first and where the line actually ends
[View / Add Comments](#)

[Redacted] I would be unhappy if somebody just suddenly cuts in front of me.
[View / Add Comments](#)

“Understanding Different Places”



Hawaiian Breakfast

[Redacted] Someone didn't cook rice.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] I want to have rice or bread with them.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] There are no any vegetables.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] Looks good! I like eggs. Okinawan people often eat pork too.
[View / Add Comments](#)

[Redacted] in okinawa, we often make rice balls with spam and eggs!
[View / Add Comments](#)

[Redacted] There is a very similar dish in Okinawa. It is called "po-ku tamago".
[View / Add Comments](#)

学生の投稿 状況把握



Student Submissions

- Self Introduction Video**
From Lesson: PreCOIL #1 (2/17-2/... ✓0

- Self Introduction Video**
From Lesson: PreCOIL #1 (2/17-2/... ✓4

- Get on zoom call with your partner**
From Lesson: PreCOIL #1 (2/17-2/... ✓3

- Get on zoom call with your partner**
From Lesson: PreCOIL #1 (2/17-2/... ✓0

- Get to know your Partner by und...**
From Lesson: PreCOIL #1 (2/17-2/... ✓13

- Sharing SDG's**
From Lesson: PreCOIL #2 (2/24-3/... ✓8

- Understanding Different places**
From Lesson: PreCOIL #2 (2/24-3/... ✓1

- Understanding Different places**
From Lesson: PreCOIL #2 (2/24-3/... ✓6

- SDG Presentations**
From Lesson: PreCOIL #3 (3/2-3/8)... ✓1

- SDG Presentations**
From Lesson: PreCOIL #3 (3/2-3/8)... ✓1

- SDG s sentence completion**
From Lesson: PreCOIL #3 (3/2-3/8)... ✓2

- SDG s sentence completion**
From Lesson: PreCOIL #3 (3/2-3/8)... ✓1

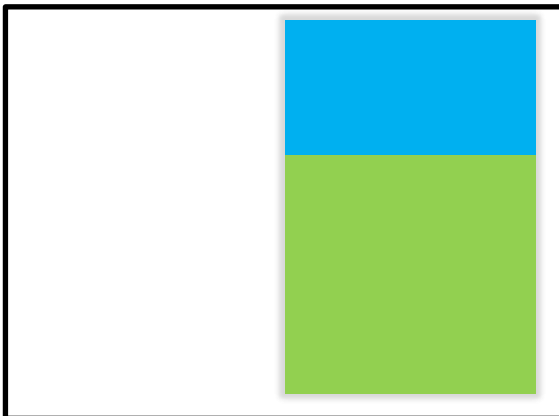
本研修の毎日のスケジュールとチューター 学生の役割

- JICA職員、他教員5名による講話（各90分）
- マーシャル学生はZoomによる現地からの参加
- 日本人チューターは琉球大学の教室で対面参加
またはオンライン参加
- 琉大・沖縄に来ている雰囲気づくり
→キャンパスツアー動画、沖縄の食べ物・お店紹介動画（チューター作成）
- 受入学生は選択したSDGsについての最終
プレゼン課題あり
→Climate change（マーシャル）、Quality
Education（ハワイ）のチームに分かれ、沖縄の
状況を取材し動画資料としてアップロード



交流プラットフォーム

- Google Drive と Zoom



- 01 Orientation
- 02 Virtual Campus Tour by Buddies
- 03 BEVI instruction manual
- 04 Lectures
- 05 Fujukan (On-campus academic museum)
- 06 Field Trip Reports by Buddies
- 07 Lunch (Food/Restaurant) Report by Buddies
- 08 Final SDGs Presentation
- 09 PostCOIL

チューターによる受入学生プレゼンへの支援（オンデマンド動画）

Climate change

教員インタビュー、キャンパス内の取り組み紹介

Quality educaion

こども食堂、フリースクールの訪問調査




We visited
LAUGH & PEACE Entertainment School Okinawa.

This is vacational school, but they have a unique approach to solve the problem of child poverty.

あそぶ
がっこう。

We are going to introduce about this vacational school and their action of children's cafeteria.

 沖縄ラフ&ピース専門学校
LAUGH & PEACE ENTERTAINMENT SCHOOL OKINAWA



最終プレゼンと事後指導

- 受入学生によるプレゼンとQ&A
 ルーブリックによるフィードバック
- 1週間後にふり返りの事後指導



項目	評価基準	評価	コメント
プレゼン内容
発表態度
質疑応答
時間管理



Sustainability Issue in the Marshall Islands

The number one sustainability issue in the Marshall Islands is climate change. As a result of climate change, the people of the Marshall Islands are experiencing droughts, sea-level rise and king tides.



プログラムの効果検証

- BEVI (Beliefs, Events and Values Inventory)
T1/T2/T3

個人の特徴の形成に影響を及ぼす信条や経験、価値観を問う185問（4段階リッカート）のオンライン質問表により、17の因子を抽出・測定できる（質問項目から測定対象コンピテンシーの推測不可能）

- 事後アンケート（本発表では略）

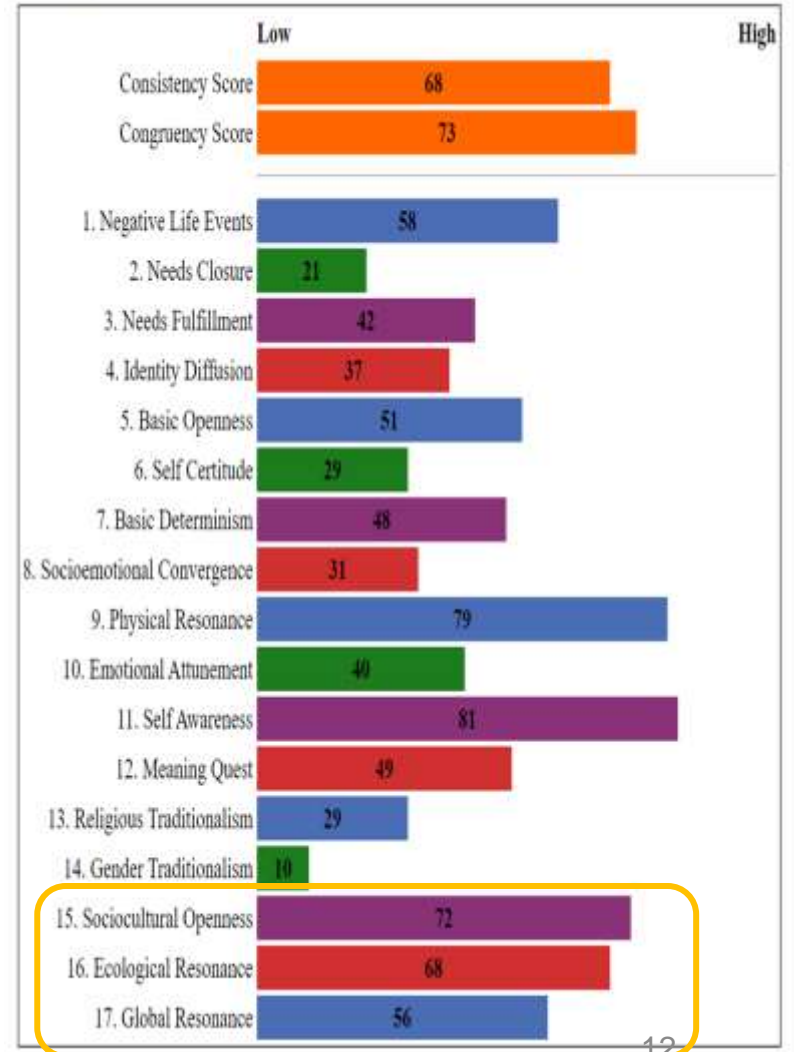
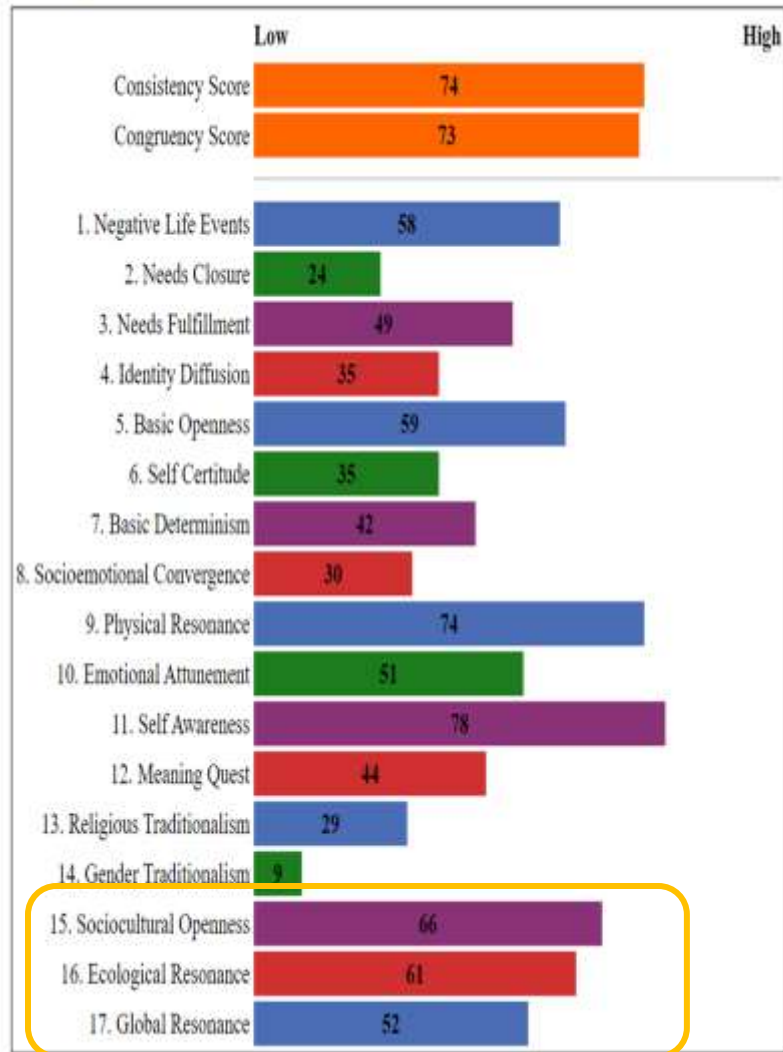
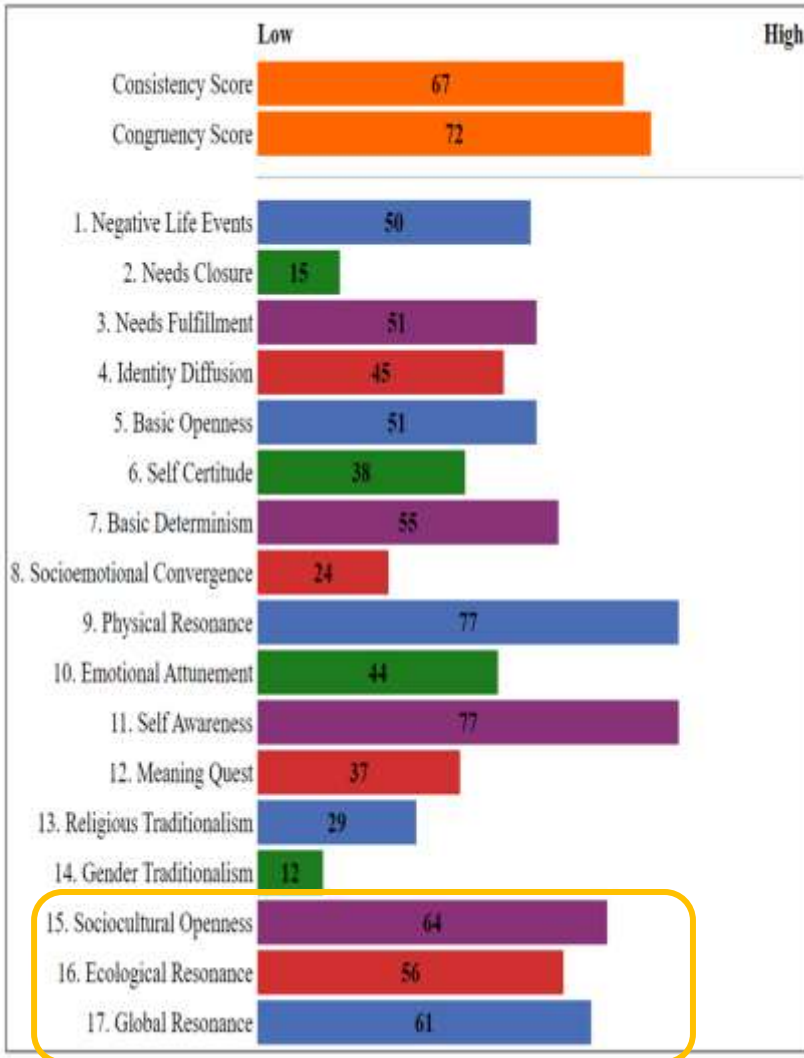
本研修終了直後に紙面でアンケート実施（自由記述およびLikert Scaleの質的量的調査）。

- 日本人学生チューターへの事後インタビュー

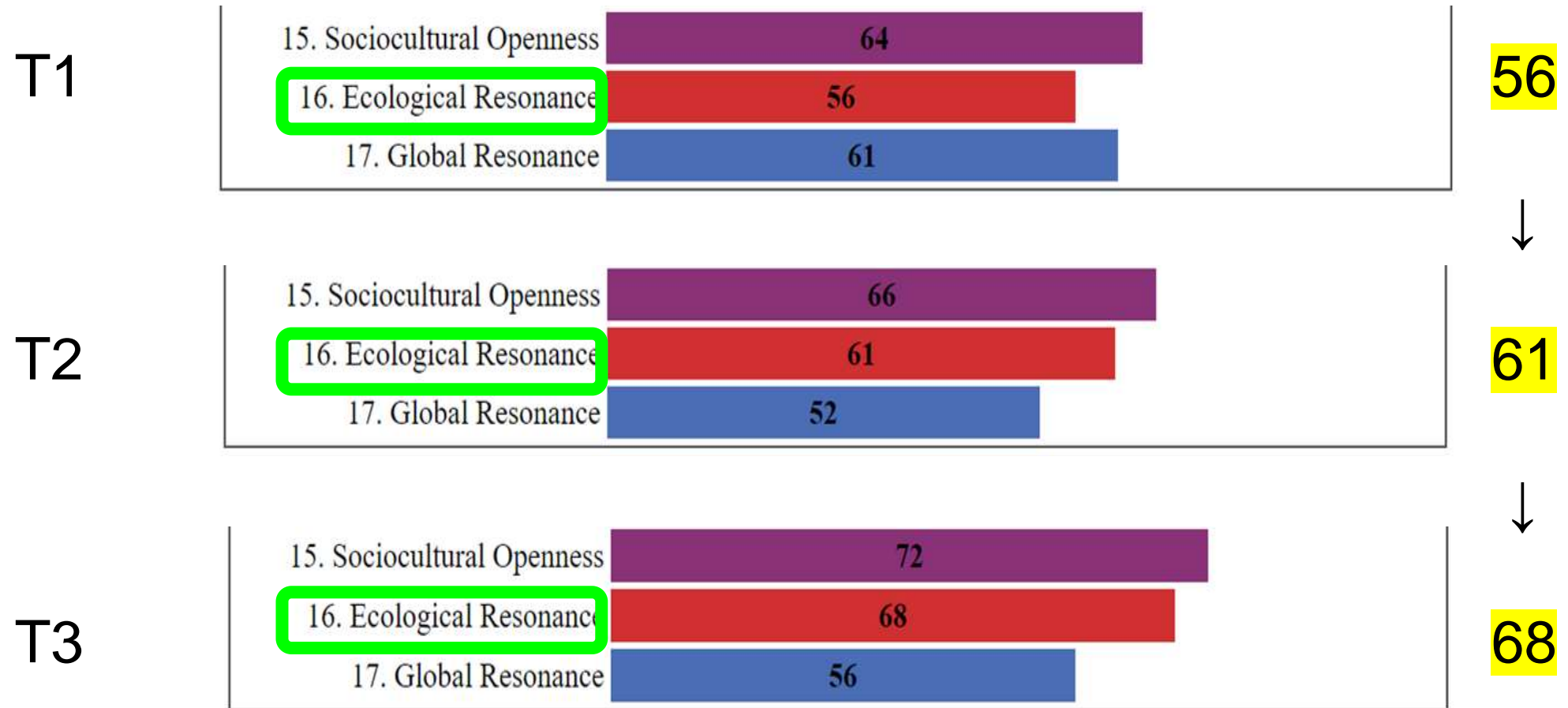
プログラムから6ヶ月後に対面でインタビュー実施（各学生90分のin-depth interview）。事後分析を行い、プログラムの効果を検証し改善策について学生から助言。



17の指標で T1→T2→T3の変化を見る



特に下の3つ、そのうちのEcological Resonance



日本人チューターのインタビュー結果

● 特に学びとして重要だった点

・ **チューター学生にとって新鮮な英語の授業** 「普通の講義や英語の講義とかと違って、**沖縄の文化を英語を使って学ぶことができたこと**が自分にとって大きな経験だった。」（国際地域創造学部 2年） 「1週間って期間だったんですけどその中で**英語を使って専門性のあることを学べたこと**が自分にとっての大きな成果だと思います。」（医学部 2年）

・ **参加意義の捉え直し** 「チューターなのに相手の学生がどんどんいなくなっていて、正直意味あるのかなと思ったけど、**逆に自分たちがメインとなって授業に参加しよう、みたいなの。**」（医学部 2年） 「自分の専門外の先生にアポ取ってビデオ撮ったのは**ドノヴァン君に送るため**のものじゃないですか、でもその時に自分こそなんか勉強になった気がして。」（法文学部 3年）

・ **日常性の共有による意図しない異文化体験** 「鶏がいっぱいて、あちらは兄弟が多くて親戚も家にいてフレンドリーでした。**Zoomが声を拾って、あとは宗教関連で日曜日に牧師さんが家に来ているとか。**私が宗教に関わっていないのでびっくりしました。」（理学部 4年）

● 事後調査に見る学生の行動・意識変容

環境問題から食の生産部分について関心をもち、食べ物を選択するようになった。

サンゴに優しい日焼け止め、ゴミ容器がでないシャンプー類を使用するようになった。



社会の中におけるジェンダーの多様性に関心が出て、自分の中で視野を広げようと思った。

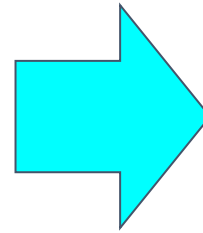
子供の貧困問題や教育の格差への関心が高まった。

卒業後、青年海外協力隊に入りたいと思い、先生に進路を相談した。

結論・今後への示唆

- COVID-19 の認知・影響と共に変化せざるを得なかったプログラム

Mobilityを前提に
したオンライン交流



オンラインのみで
実施する国際交流

しばらくは
こちらがメイン？

今後への示唆

- **オンラインの国際交流で何ができるか**
 - ・（対面での国際交流以上に）画面から読み取る個人の日常性の共有がリアリティを与える
 - ・学生同士の自主的な学び
 - ・学習プラットフォームやICTに関する事前オリエンテーションを十分に行う→ICTスキルを全員で向上させ、プログラム参加において、誰一人取り残さないという意識づけを行なう
- **SDGsという共通課題への意識づけ、行動変容**
 - ・事前研修から「自分ごと」として捉える視点や問題意識を共有
- **英語教育への示唆**

オンライン事前交流でも「相手が辛抱強く待ってくれた」

 - ・自分のできることで貢献（字幕、ナレーション、など）

ご静聴ありがとうございました

